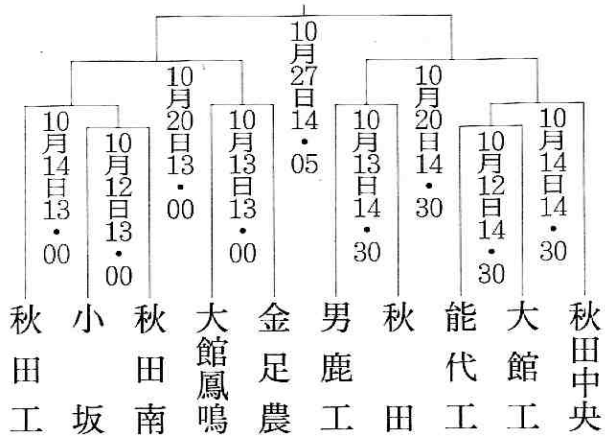


全国高校ラグビー県予選

秋工頭一つリード

来月12日開幕 10校、花園目指す

10月12日に秋田市の八橋球技場で開幕する第92回全国高校ラグビー大会県予選の組み合わせ抽選会が12日、同市のアキタパークホテルで行われ



た。出場校は昨年と同じ10校。全国大会（12月27日〜来年1月7日・近鉄花園ラグビー場ほか）の出場権を懸けて熱戦を繰り広げる。

大会は10月12日に1回戦、13、14日に2回戦を行う。準

決勝は20日で決勝は27日。組み合わせ抽選会では、6月の全県高校総体上位4校の秋田工、秋田中央、男鹿工、金足農をシードした後、競技経験の浅い選手が多い小坂を1回戦からの登場とし、残り5校がくじを引き対戦カードを決めた。

優勝争いは、4月の全国選抜で4強入りし、6月の全県高校総体で圧倒した秋田工が頭一つ抜け出ている。これを秋田中央、男鹿工、金足農が追う展開となりそうだ。

2年ぶりの花園出場を目指す秋田工は、FWとBKが連動した攻撃が持ち味。突破力のある選手がそろい、どこからでも好機をつくる。全県高校総体では全3試合をノートライに抑え、守備も堅い。夏の走り込みで体力強化を図るなど、攻守共に磨きが掛かっている。

連覇を狙う秋田中央は、FWを中心に大型選手がそろい、接点の強さを生かして攻める。全県高校総体決勝では秋田工に大量点を奪われたが、ディフェンスが組織的に機能するようになり、安定感が出てきた。

男鹿工はFWとBKのバランスが良く、ドライビングモールや展開など多彩な攻撃が持ち味。金足農はBKに走力があり、テンポのいい展開攻撃で勝負したいところだ。

開会式は10月12日午後0時半から同球技場で行い、選手宣誓は前年度優勝校の秋田中

央・徳原廉主将（3年）が務める。
（遠藤卓之）

第92回全国高校ラグビー大会県予選は12日、秋田市の八橋球技場で開幕した。初日は1回戦2試合を行い、秋田南が小坂を無得点に抑え大勝。能代工は最後まで攻撃の手を緩めず大館工に快勝した。第2日のきょう13日は、同球技場で2回戦2試合を行う。

(高橋広幸)

秋田南、小坂を圧倒



〈第1日〉

▽1回戦

秋田南 68-0 小坂
 秋田南 68-0 小坂
 秋田南 68-0 小坂
 秋田南 68-0 小坂
 秋田南 68-0 小坂
 秋田南 68-0 小坂

きのうの結果

▽1回戦

秋田南 68-0 小坂
 能代工 50-12 大館工

きょうの試合

▽2回戦
 大館鳳鳴(13・00) 金足農
 男鹿工(14・30) 秋田



て圧倒し、小坂を寄せ付けなかった。秋田南は前半7分、ゴール前のラックから抜け出したF B田中のトライで先制すると、素早い展開からバックスがトライを重ね、前半で34-0とリード。後半も6トライを奪う一方、小坂の攻撃を確実に止め、零封した。

海林部 野野見 泰波 藤浦川 木部中
 小阿 佐賀 京 佐南 伊三 細 佐渡田
 小阿 佐賀 京 佐南 伊三 細 佐渡田
 小阿 佐賀 京 佐南 伊三 細 佐渡田

小坂は立ち上がりから守勢を強いられ、最後まで得点を奪えなかった。「全力出し悔いはない」

○：小坂は、野球部と柔道部の5人を加えて15人ぎりぎり大会に臨んだが、初戦で秋田南に力負けした。山口清彰監督は「経験の少ない選手が多い中、守備でよく頑張った」とねぎらった。

能代工が快勝

大館工、反撃及ばず

柔道部、7月に野球部を引退した3年生が加わった。「一生懸命練習しているラグビー部の力になった」と元野球部の菊地海斗。15人制の試合は今季初。序盤から秋田南に攻め込まれた

小坂は立ち上がりから守勢を強いられ、最後まで得点を奪えなかった。「全力出し悔いはない」

「全力出し悔いはない」

○：小坂は、野球部と柔道部の5人を加えて15人ぎりぎり大会に臨んだが、初戦で秋田南に力負けした。山口清彰監督は「経験の少ない選手が多い中、守備でよく頑張った」とねぎらった。

ここ何年かは部員不足で、2、3人の「助っ人」を借りて出場してきた。1年生が不在の現チームは、昨秋から部員10人で練習を続け、6月に

能代工が前半に主導権を握り、大館工を振り切った。先制した能代工は前半12分、CTB佐藤亮が自陣からの独走トライを決めて勢いに乗り、26点リードで折り返した。後半2分に失点したが、直後の7分にゴール前のモールからLO熊谷が押し込んで

が、最後まで諦めずゴールラインを目指した。田端司主将(3年)は「全力を出し切り、悔いはない。大会のために参加してくれた仲間感謝したい」と語った。

トライ。その後も着実にリードを広げた。大館工は後半2トライを奪って反撃したものの、能代工の攻撃を抑え切れなかった。持ち味の攻撃力を発揮

○：能代工は立ち上がりからフォワードとバックスが連動し、大館工を寄せ付けなかった。S O齊藤海主将(3年)は「自分たちの持ち味の攻撃

平塚が単独トップ

日本OP

日本オープン選手権第2日(12日・沖縄県那覇GCC)7176射、(パ71)40歳の平塚哲二が6バーディー、5ボギーの70で回り、通算1オパーの143で単独首位に立った。3打差の2位に小田孔明、さらに1打差の3位に、69をマークした地元沖縄出身の宮里優作、57歳の中嶋常幸、今季3勝の藤田寛之、ベテラン佐藤信人ら5人が並

んだ。強風のため、アンダーパード回った選手は3人にとどまった。46位で出た池田勇太は72で回り、通算8オパーの16位に浮上した。通算13オパーまでの62人が決勝ラウンドに進み、アマチュアの松山英樹(東北福祉大)は11オパー、石川遼は12オパーで予選を突破。片山晋呉や青木功、尾崎将司は予選落ちした。(出場113選手)アマ15、晴れ時々曇り、気温26・7度、北北東の風6・6m、観衆2930人)

小技での勝負が奏功

○：強風が吹き、難コースぶりに拍車がかかる中、首位と1打差から出た平塚がするするとトップに躍り出た。こ

第2日成績 (パ-71)

| | | | | | | |
|------|----|-----|-----|------|-------|-----|
| ①平塚 | 哲二 | +1 | 143 | (73) | 70=36 | 34) |
| ②小田 | 孔明 | +4 | 146 | (73) | 73=36 | 37) |
| ③宮里 | 優作 | +5 | 147 | (78) | 69=34 | 35) |
| ③藤田 | 寛之 | | 147 | (74) | 73=37 | 36) |
| ③久保 | 健一 | | 147 | (74) | 73=36 | 37) |
| ③中嶋 | 常幸 | | 147 | (73) | 74=36 | 38) |
| ③佐藤 | 信人 | | 147 | (72) | 75=36 | 39) |
| ③Jパグ | ンサ | +6 | 148 | (76) | 72=38 | 34) |
| ③呉 | 阿順 | (中) | 148 | (75) | 73=38 | 35) |
| ⑩塚田 | 好宣 | ら6人 | +7 | 149 | | |

(比はフィリピン)

東北総合バスケット県予

女子・大曲

第92回全国高校ラグビー大会県予選第2日は、秋田市の八橋球技場で2回戦2試合を行った。15トライを奪った金足農が大館鳳鳴に圧勝、試合終了間際に逆転した男鹿工

全国高校ラグビー 県予選

〈第2日〉

が秋田に競り勝ち、準決勝進出を決めた。きょう14日は、同球技場で2回戦の残り2試合を行い、4強が出そろった。
(三井晃子)

男鹿工、秋田に競り勝つ

▽2回戦
男鹿工 19(14・7)14 秋 田 11(10・7)14
▽30分ハーフ▽キックオフ 男鹿工 10:05 22:01 14反13

試合終了間際に逆転トライを決めた男鹿工が、秋田との接戦を制した。



【男鹿工一秋田】後半29分、男鹿工の伊藤（中央）が秋田のディフェンダーを振り切り、逆転トライを決める

男鹿工は先制したものの、20分に逆転を許した。後半、リードを広げられたが、9点差で迎えた18分、WTB今井のトライとゴールで2点差。その後も攻め続け、29分にゴールライン手前のラックから抜け出したSO伊藤が逆転のトライを決め、そのまま逃げ切った。

秋田はゲーム中盤に主導権を握ったが、あと一歩及ばなかった。
「最後に気持ちで負けた」
○：試合終了間際まで息詰まる攻防を繰り返したが、残り時間1分で秋田は男鹿工に逆転負けを喫した。ナンバー18伊藤徳人主将(3年)は「最後の最後に気持ちで相手に負けてしまった」と唇をかんだ。
前半20分にリードを奪った秋田。後半開始早々には、SO村上睦毅(2年)がトライ

を決めて主導権を握った。だが、徐々に男鹿工にボールを支配された。18分には2点差に詰め寄せられ、残り1分で逆

転。踏ん張り切れず選手たちは悔しさをにじませたが、村上は「みんながパスを回してくれたおかげ」と仲間への感謝を口に、伊藤主将は「強い気持ちで決めてくれてうれしかった」と後輩の奮闘をたたえた。
近藤周平監督は「最後で競り負けた。それでも5人の3年生がチームを引っ張り、よく頑張った」とねぎらった。
伊藤主将は「悔しい気持ちを忘れず、来年は初戦突破してほしい」と後輩たちに勝利を託した。

金農15丁、鳳鳴を圧倒

▽2回戦
金足農 99(68・31)07 7 大館鳳鳴 11(10・7)14
▽30分ハーフ▽キックオフ 大館鳳鳴 10:05 22:01 14反13

金足農は前半10分、SO齊藤のトライで逆転。その後はボールを支配して3トライを決めるなどしてゲームを支配した。後半に入っても素早いパス回しから相手守備を崩してトライを量産。大館鳳鳴に付け入る隙を与えなかつた。

大館鳳鳴は先制トライを奪ったが、相手の猛攻を最後まで防げなかった。
逆転Tで流れ変える

「このままでは流れが悪くなると思った。自分のプレーで切り替えたかった」とSO齊藤郁哉主将(3年)。2点差に詰め寄り迎えた前半10分、ラックから齊藤主将がボールを蹴り出し、そのまま抑え込んで逆転トライ。その後、3トライを重ねて徐々に持ち味を発揮すると、後半はBK陣がボールを支配して突き放した。

- 島橋 木健将 寛玉庭 藤岡 木原 田山 豊高 澤 佐安 安小 櫻 齊 片 佐 佐 鎌 昌 部 橋 田 柳 田 後 坂 川 田 将 一 藤 直 邊 藤 安 高 成 青 前 昌 赤 中 鎌 小 小 後 島 渡 佐 安 代 代 二 鳳 小林 和 前 田 金 浦 生 豊 島 細 井 拓 澤 木 関 根 片 岡 細 井 勇 齊 藤 中 村 崑 山 保 坂 櫻 庭 藤 原 泉 藤 原 佐 々 木 石 川 安 田 寛

金足農は前半10分、SO齊藤のトライで逆転。その後はボールを支配して3トライを決めるなどしてゲームを支配した。後半に入っても素早いパス回しから相手守備を崩してトライを量産。大館鳳鳴に付け入る隙を与えなかつた。

○：持ち味のスピードを生かして15トライを奪って快勝した金足農。佐藤栄幸監督は「後半にFWとBKががみ合っている点に結びついた。立ち上がりFWが押し込まれたことが課題」と語った。
開始直後、モールから押し込まれ先制トライを許した。

準決勝は1週間後。秋田工と秋田南の勝者が相手となる。齊藤主将は「簡単に得点できないと思う。課題を修正し、ミス減らしてロースコアに持ち込んで勝負をしたい」と意気込んでいる。

第92回全国高校ラグビー大会
予選第3日は14日、秋田市の八橋
球技場で2回戦残り2試合を行っ
た。第1シードの秋田工は好守で
秋田南を圧倒、第2シードの秋田

全国高校 ラグビー 県予選

〈第3日〉

秋田工 × 金足農

4強出そろう

男鹿工 × 秋田中央



【能代工—秋田中央】後半29分、秋田中
央のSO石田（中央）がトライを決める

秋田中央、能代工に快勝

▽2回戦
秋田中央 73(35)8(10)10 能代工
▽30分ハーフ▽キックオフ能
代工▽レフリー▽佐藤

中央64038 55035
TGP前 0000
能代工20010 0000
TGP後 10計73
10反11

きのうの結果

▽2回戦
秋田工 126—0 秋田南
秋田中央 73—10 能代工

前半からリードを奪った秋
田中央が、能代工に快勝した。
先制した秋田中央は直後に
2トライを許したが、前半20
分、ゴール前の右ラックから
L.O保坂が押し込み逆転。そ
の後もトライを重ねてリード
を広げた。後半に入ってもポ
ールを支配し、反撃を許さな
かった。

FW陣の課題修正する

○：昨年覇者の秋田中央は
大量リードを奪い好スタート
を切ったが、古谷和義監督は
「試合内容は50点。前後半を
通して反則が目立ち、FWに
力強さが足りなかった」と厳
しかった。

口田紀田坂谷郡篠田原幸木岡崎田
川藤佐山保熊南北鎌徳本女郷池
【中】秋田南 0000
【能代工】FW 藤野 高木 龍海 澤野 武藤
藤野 高木 龍海 澤野 武藤
齊三工熊石大々千佐齊相佐本佐木
佐藤 藤野 高木 龍海 澤野 武藤
△交代：【能】今立(三浦)【中】
佐藤(佐々木)、石田(徳原)、
松本(松本幸)、吉田(佐藤)、
高橋(南都)、佐藤航(鎌田)、
武藤(池田)

秋田中央は前半、能代工に
2トライを許した。その後は
トライを量産して引き離し
たが、タックルに攻撃を阻ま
れる場面も。「相手のFWは
強く、ディフェンスでリズム
をつくり切れなかった」と古

秋田工圧巻20T 秋田南突き放す

▽2回戦
秋田工 126(71)00 秋田南
▽30分ハーフ▽キックオフ秋
田工▽レフリー石田

秋田南0000 0000
TGP前 0000
秋田工118071 95055 計反
1288

秋田工は開始早々、モール
からFL長谷川がトライを決
めて先制。その後もFW陣と
BK陣が一体となって攻撃を
展開しトライを量産。前半だ

秋田工が計20トライを挙
げ、秋田南を寄せ付けなかつ
た。

海林部博野野晃泰波藤浦川木部中
島小阿佐濱京佐南伊三細佐渡田
【秋田工】FW 藤野 高木 龍海 澤野 武藤
藤野 高木 龍海 澤野 武藤
△交代：【工】大村(加藤裕)、
関谷(三浦)、小野(宮川)、佐
々木(伊藤龍)、奈良(船木集)

【南】田松(渡部)

劣勢にも「前へ」と鼓舞

○：第1シードの秋田工に
挑んだ秋田南は、無得点のま
まノーサイドを迎えた。SH
南晃晃主将(3年)は「せめ
て1トライを奪いたかった」
と悔しさをにじませたが、「チ
ーム全員が最後まで諦めずに
戦い切った」と振り返った。
序盤から立て続けにトライ
を決められ、ボールを奪って
もターンオーバーを許して攻
め込まれた。劣勢の中、ナン
バー8佐藤泰裕(同)は声を
張り上げて仲間を鼓舞。「先
陣を切ってプレーするポジシ
ョン。だからこそ声を出し続
けた」。試合終了まで「前へ
攻めろ」「諦めるな」と声を
振り絞って戦い続けた。

平田哲久監督は「選手たち
はよく頑張ってくれた」とね
ぎらい、佐藤は「悔しきは残
るが、それ以上に試合を楽し
んだ。チームの思い出が詰ま
ったゲームになった」と3年
間を締めくくった。

はよく頑張ってくれた」とね
ぎらい、佐藤は「悔しきは残
るが、それ以上に試合を楽し
んだ。チームの思い出が詰ま
ったゲームになった」と3年
間を締めくくった。

サッカーの第14回日本フ
ットボールリーグ(JFL)
は14日、各地で第29節6試
合を行った。ブラウブリッ
ツ秋田(BB秋田)は、栃
木県の足利市総合運動公園
陸上競技場で栃木ウーヴァ
FC(栃木)と戦い、3ゴ
ールを奪われ1—3で敗れ

BB、

栃木ウーヴァFC
BB秋田

秋田工

×

金足農

男鹿工

×

秋田中央

きよりの4強激突

第92回全国高校ラグビー大会県予選はきょう20日、秋田市の八橋球技場で午後1時から秋田工—金足農、2時半から男鹿工—秋田中央の準決勝を行う。

第1シードの秋田工は、初戦でBK陣の主力を温存しながらも20トライを奪い、守りでも無得点に抑えて圧勝。スクラムなどのセットプレーも

安定しており、攻守に隙がない。金足農は、出足の速いタックルで秋田工の連続攻撃を抑え込めるかが鍵。FW戦で劣勢が予想されるため、スペースを突くキックで敵陣に入り、走力のあるBK陣で好機をものにしたい。

第2シードの秋田中央は男鹿工を迎え撃つ。初戦でトライを量産したものの、序盤は

きよりの試合

▽準決勝

秋田工(13・00) 金足農
男鹿工(14・30) 秋田中央

FWが押し込まれるもろさも見せた。モールへの対応などを修正し、守備から攻撃のリズムをつくれるかがポイント。対する男鹿工は、FW、BK一体となった攻撃が持ち味。FW戦で互角に渡り合い、密集やセットプレーでテンポ良くボールを出して攻めたいところ。ロースコアで競り勝負展開を狙う。(遠藤卓之)

決勝は秋田工vs秋田中央

第92回全国高校ラグビー大会県予選第4日は20日、秋田市の八橋球技場で準決勝を行い、第1シードの秋田工と第2シードの秋田中央が決勝進出を決めた。秋田工は着実にトライを重ね

27日、八橋球技場

粘り強く守り

男鹿工を撃破

中央



〈第4日〉

て金足農に大勝。秋田中央は男鹿工の反撃をかわして競り勝った。全国大会出場を懸けた決勝は、27日午後2時5分から同球技場で行う。

(高橋広幸)

▽準決勝

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 秋田中央 | 24 | 121 | 12 | 8 | 20 | 男鹿工 | 中 | 央 | 2 | 1 | 0 | 12 | 2 | 1 | 0 | 12 |
| △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ |

追い上げをかわして花園まであと1勝と迫った秋田中央。ノーサイドの笛が鳴り、フィフティンが浮かべた安堵(あんど)の表情が試合の厳しさを物語っていた。

風下に立った立ち上がり、男鹿工に押し込まれ、自陣でペナルティーを重ねて何度もチャンスを与えた。「ミスでリズムを悪くしてしまった」とS.O.徳原廉主将(3年)。9分に先制トラ

後半ギア上げ主導権 中央



【男鹿工—秋田中央】後半20分、秋田中央のLO保坂がトライを決め、22—15とする

口田紀田坂谷都條田原幸河岡崎田藤山保熊南北鎌徳松本藤郷川藤山保熊南北鎌徳松本藤郷【男鹿工】FW 藤山保熊南北鎌徳松本藤郷【秋田中央】FW 藤山保熊南北鎌徳松本藤郷

きのこの結果

| | | | |
|------|----|----|-----|
| 秋田工 | 67 | 5 | 金足農 |
| 秋田中央 | 24 | 20 | 男鹿工 |

▽準決勝

12—12で折り返した。後半4分、敵陣でこぼれ球を拾ったFL熊谷のトライで勝ち越し。20分にLO保坂のトライで引き離すと、粘り強い守りで男鹿工の反撃をしのいだ。男鹿工は終盤に4点差に追いついたものの、あと一歩及ばなかった。

多ク

イを許すと、モールから押し込んで反撃した直後の17分にも失点。それでも終了間際に追い付いて前半を終えた。リードを一度も奪えず追う展開を強いられたが、後半に攻撃のギアを上げて主導権をつかんだ。「前半はボールがあまり回っていなかったため、テンポを意識して攻めた」と徳原主将。FWとBKが一体となった攻撃で攻め込む時間が増えると、4分にFL熊谷駿平(2年)のトライで勝ち越し。20分にはゴール前中央のラックから抜け出したLO保坂瑠土(2年)がトライを決めて引き離した。保坂は「後半は気持ちを入れ直して戦った。左への展開が続いていたので、逆の右方向のスペースをうまく突けた」と胸を張った。

しかし、終盤に再び男鹿工にトライを許し、4点差で逃げ切る苦しいゲーム。古谷和義監督は「ディフェンスが悪すぎる。簡単にトライを許していた」と不満そうに振り返った。決勝は、今年6月の全県総体で大敗を喫した秋田工に挑む。FL南都陸央(3年)は「FW陣が接点で負けずに戦い、必ず春の雪辱を果たしたい」と打倒・秋田工に向け気合を入れ直していた。



【秋田工—金足農】後半19分、秋田工のCTB船木海がトライを決め、65—0とする

秋田工 11トライ、金農圧倒

▽準決勝

| | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 秋田工 | 67 | 29 | 38 | 5 | 0 | 5 | 金足農 |
| △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ | △30分ハーフ |

秋田工は前半3分、ゴール前右のモールから展開し、WTB伊藤悠が左中間に先制トライを決めた。金足農は序盤から守勢を強いられたが、終盤に1トライを奪うのがやっとだった。

終了間際の失点反省

○…序盤からスピードディーナ攻撃で押し込み、金足農を寄せ付けなかった秋田工。だが黒澤光弘監督は終了間際の失点に「後半に気持ちの緩みが出た。取られたトライがその象徴」と選手に反省を促した。38点リードで迎えた後半も素早い展開からトライを量産した。決勝では最後まで気を抜かず、絶対に花園にいくと力を込めた。

秋工 2年ぶり 花園へ 秋田中央を圧倒



【秋田工―秋田中央】前半終了間際、秋田工のWTB佐々木修がハンドオフで相手ディフェンダーを振り切り、トライを決める

第92回全国高校ラグビー大会県予選最終日は27日、秋田市の八橋球技場で決勝を行い、秋田工が秋田中央を45-0で下して2年ぶり55度目の優勝を飾り、64度目の全国大会出場を決めた。秋田工は前半終盤に2トライを奪うと、後半はFW、BKの連続攻撃で5トライを重ね突き放した。全国大会は12月27日から来年1月7日まで東大阪市の近鉄花園ラグビー場などで行われる。（遠藤卓之）



7トライ奪い 零封

秋田工が7トライを奪い、無得点に抑えて秋田中央を退けた。

前半、秋田工は縦突進を見せる相手の攻撃に苦しみ、リズムをつかめなかったが、残り4分、BK陣が左に展開してWTB伊藤悠が先制のトライ。終了間際にはWTB佐々木修がトライを決め、12点のリードを奪い主導権を握った。

後半は、FW陣がドライブピンクモールで押し込み、BK陣も相手の裏を突くキックか

▽決勝

| | | | | | | | | |
|---------|--------|--------|-------|------|---|----|----|---|
| 秋田工 | 45 | (3312) | 0 | 秋田中央 | | | | |
| ▽30分ハーフ | ▽キックオフ | 中央 | ▽レフェリ | 片桐 | | | | |
| 秋田工 | 21 | 10 | 12 | 54 | 0 | 33 | 45 | 4 |
| TGP前 | | | | TGP後 | | | | |
| 中央 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計反 | | | | | | | | |

2年ぶり55度目の優勝 秋田工

立ち上がりからリズムに乗れず、歯がゆい時間が続いたが、終わってみれば45点差をつけての圧勝。後半はFW、BKがそれぞれ持ち味を發揮してトライを量産。黒澤光弘監督は「納得できる内容ではないが、前半の苦しい展開でトライを2つ取れたのは力がある証拠。ノートライに抑えたことも評価できる」と選手たちをねぎらった。

FB成田秀平主将（3年）ら高校日本代表候補5人を擁し、全国選抜で4強入り。全国優勝」を目標に掲げるが、チームにとって県予選決勝は単なる通過点ではなかった。

昨年、秋田中央に試合終了間際に逆転負けを喫し、つかみかけた花園切符を逃した。

成田主将をはじめ、この日先勝しても悔しさは晴れなかつた15人中9人が苦杯をなす」と成田主将。雪辱を誓ってこの1年を、その思いが食いつかる秋田で過ごしてきた。「他の大会で、中央を一蹴した。前半26分、



2年ぶり55度目の優勝を果たした秋田工

左へ大きく展開し、WTB伊藤悠成（同）が先制トライ。BK陣はその後、スピードと相手の裏を突くキックで攻め立て、FW陣はドライブピンクモールで2トライを奪った。自陣深くに攻め込まれても落ち着いて守りを立て直し、トライを阻み、無失点に抑えられた。

本県チームの主力として臨んだ10月の岐阜国体は、優勝した大阪に接点で力負けし、15・25で屈した。「全国で勝ち上がっていくには、FWやキックをうまく使った攻撃を考えなければいけない」と黒澤監督。16度目の全国制覇に向けてチームはさらなる成長を遂げ花園に立つ。

らトライを奪うなど多彩な攻めを見せ、突き放した。秋田中央は前半、接点で強さを見せ互角に渡り合ったが、後半は秋田工の連続攻撃を止め切れなかった。

「一番良い内容のゲーム」

○：2年連続の花園出場を絶たれた秋田中央。全県総体で大敗した秋田工に対し、前半は一進一退の戦いを繰り返したが、後半突き放された。古谷和義監督は「今まで一番良い内容のゲーム。胸を張れ」と泣き崩れる選手たちに

後半は防戦一方となったが、トライを狙って最後まで前に出た。今大会初戦で脳し

ら秋田工に勝てないまま終わったが、古谷監督は「3年生10人が体を張って頑張ってくれた。最後にいいチームになった」と語った。SO徳原廉主将（同）は「みんなの前に出て最高の試合だった。3年間やってきたことを出し切った」と話し、グラウンドを後にした。

新チーム結成から秋田工に勝てないまま終わったが、古谷監督は「3年生10人が体を張って頑張ってくれた。最後にいいチームになった」と語った。SO徳原廉主将（同）は「みんなの前に出て最高の試合だった。3年間やってきたことを出し切った」と話し、グラウンドを後にした。



連覇を逃し、肩を落とす秋田中央の選手たち

栄光

全国高校選抜バス 秋田西、平

第43回全国高校バスケットボール選抜優勝大会県予選第2日は27日、横手市増田体育館と横手体育館で男子の3回戦と準々決勝、女子の2回戦と準々決勝を行い、4強が出そろった。

男子は能代工が順当に勝ち

| | | | |
|-----|-----|----|-----|
| 能代工 | 100 | 97 | 164 |
| 湯沢北 | 72 | 42 | |
| 金沢 | 90 | 72 | 42 |
| 湯沢 | 91 | 48 | 59 |
| 新田 | 63 | 48 | 59 |
| 増田 | 62 | 63 | 48 |
| 本庄 | 53 | 50 | 62 |
| 横手 | 54 | 54 | 54 |
| 秋田 | 87 | 72 | 106 |
| 秋田 | 85 | 53 | 54 |